

ハレト讓歩セルモ代表者ハ一人五百円ヲ要求シ勞賃間ノ懸隔甚シキ為會見ヲ打切り十一月一日更ニ會見ヲ約シ代表者ハ退  
出セリ

一、會社側ノ意嚮

會社側ハ重役個人トシテ二千四百圓支給スルコトヲ讓歩シタルニ拘ラズ一人五百円ノ手當ヲ要求スル如キハ職工等ニ誠意ナキモノトシ次回會見ノ際ハ白紙ニ終リ交渉ノ意嚮ナリ

一、従業員側ノ動靜

残留者及ビ解雇職工ハ工場ニ集合シ残留職工ハ同情急業ヲ為シ居ルモ残留者中ニハ至急争議ノ解決ヲ希望シ居ルモノアルモ被解雇者ハ食堂ニ集合シ作戦上會社ノ交渉ニ参加セズ會社ノ回答如何ニ依リ總同盟本部ノ支援ノ下ニ積極的抗爭ヲ為ス模様ナリ

右及申(通)報候也

5. 12. 5

1923

勞務秘第四四一八號

昭和五年十二月四日

警視總監 丸山 鶴吉

内務大臣 安達 謙藏殿

社會局長官 吉田 茂殿

各府縣知事 殿(京都大阪神戶川崎  
名古屋名古屋福岡)

株式会社安中電機製作所勞傷争議解決ノ件 (9月4日暫定解決)

要旨 11月1日會見手當以外ニ金一封トシテ金貳千四百円ヲ支給承認争議解決ス

標記會社ノ勞傷争議ニ関シテハ既報ノ通ナルガ本月二日左ノ覺書ヲ交換シ漸ク争議解決セリ

覺書

今回安中電機製作所勞傷争議ノ交渉事項ハ左記条件ニヨリ圓滿解決ス